

(単元) ビジネスマナーの実践

(本時のねらい)

次世代経営者育成プログラムの一環として、美しい姿勢・正しいお辞儀の仕方・挨拶の仕方などを前回の授業で外部講師から指導していただいた。そのときの授業を全員で振り返り、習得しておくべきビジネスマナーを実践させ、その定着を図る。

また、グループに分かれて1人ずつ所作を確認し、お互いの良い点や改善点を指摘し合い、自らのよりよい成長に活かす態度を育成する。加えて、社会人として組織の望ましい構成員であることとはどういうことかを考えさせ、自分の考えを適切に表現する力や、他者の意見を聞く態度を養うことを目的とし、個々の人間性の向上が組織全体の向上に寄与することに気付かせる。

(ICT活用方法)

ビジネスマナーの1つである美しい姿勢・正しいお辞儀の仕方・挨拶の仕方などの所作を定着させるために、電子黒板を用いて外部講師の授業を受けている自分たちの様子を記録した動画を全員で視聴し、客観的に自分やクラスメイトの所作を見ることで注意点や改善点を探す。従来は、教師が生徒一人ひとりに対して改善点などを指摘していたが、生徒たちがお互いに指摘し合えるようにグループ学習とし、自分の意見を表現する機会を増やした。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法	備考
導入 5分	・本時の目標を知る。			
展開 40分	・美しい所作に必要なことを発表する。 ・自分たちの学習する姿を客観的に見て改善点を探し、発表する。 ・グループに分かれ美しい所作ができる	・指名せず自主的積極的な発言を促す。 ・所作の実践に加え、話を聞く姿勢にも言及し、気付いた点を発表させる。 ・改善された点やそれを促した生徒たちの指摘	・前回学習時の動画を視聴させる。 ・希望者がいればタブレット等で所作を記録させ、電子黒板に映す。	・挙手し発言許可を得るマナーを指導する。 ・批判ではなく友達の成長

	よう実践する。 (ipad 使用可)	や言葉を例に挙げ、まとめる。		に役立てる発言を考えさせる。
まとめ 5分	・本時のまとめをする。	・所作定着を図るため、毎授業時の挨拶徹底を指示する。		

(授業の様子)



(前時の学習風景を投影)



(挨拶の復習)



(ipad で撮影した自分たちの所作をグループで確認)



(意見を伝えあう)

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

自分たちの姿を客観的に見る機会が少ない生徒たちにとっては新鮮な授業となり、従来の説明だけの授業に比べ、積極的に学習する姿が見られた。自分の姿を映した映像を見ながらのアドバイスは、本人も受け入れやすく、自己を改善させる努力を繰り返すことができていた。また、そのようなクラスメイトの学習姿勢からよい刺激を受けた生徒もいたと感じる。しかし、実践中心の授業だったため、指摘された点を振り返るためのノートを取る時間が少なかったことが改善点として挙げられる。実践中心の授業では、時間配分を吟味し、事前にワークシートを用意するなどの工夫も必要だったと反省する。行動の習慣化には多くの時間を要することを踏まえ、面接練習などの進路指導にもこうした ICT を活用した学習を積極的に取り入れたい。ICT 機器の活用方法を習得することが目的ではなく、それらを自己の成長にどう活かせるかを生徒たちに考えさせる好機となった。